

# 現状における各市町村の取り組み状況について

資料3

市町村名	取り組み状況
愛西市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西尾張9市の相互応援協定(平成28年7月7日)を締結</li> <li>■あま7市町村の相互応援協定(平成24年)を締結</li> <li>■今年度の防災訓練で、広域避難を想定したバス避難訓練を計画</li> <li>■小学校の子供会を通じて、地震や洪水を想定した防災訓練を実施</li> <li>■愛知県の補助を受け、学校と地域が共同で防災について考える取り組みを永和地区で実施予定</li> <li>■防災行政無線のデジタル化に伴い、屋外拡声器115基を市内全域に整備</li> </ul>
桑名市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広域避難訓練の実施</li> <li>■浸水区域に同報系防災行政無線を整備する</li> <li>■中日本高速道路株式会社と協定を結び、東名阪自動車道法面に緊急避難施設を整備</li> <li>■7月に市内ショッピングセンターにおいて、防災フェアを開催し、防災トーク、防災お泊り体験会を実施</li> <li>■桑名市高台への洪水時緊急避難について、海津市と合意(平成28年4月)</li> <li>■三重県桑名地域防災総合事務所の協力により、桑名地域2市2町による浸水時における広域避難に関する協定を結ぶ</li> <li>■避難先は自市内で完結する方針</li> <li>■長島地区内の小学校に緊急避難施設用屋外階段の設置</li> <li>■電柱及び自治会への海拔表示</li> </ul>
木曾岬町	<ul style="list-style-type: none"> <li>■三重県桑名地域防災総合事務所および桑名2市2町による広域避難に特化した協議を実施</li> <li>■計画的な津波避難施設の整備を行う(平成27年度～平成29年度)</li> <li>■地域防災力の向上を目指す。(防災指導員を1名配置し、自主防災組織を対象とした出前講座等を行う。)</li> <li>■的確な防災情報の伝達に向けて、防災行政無線のデジタル化更新工事を実施(平成24年度～平成29年度)</li> </ul>
弥富市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西尾張9市の相互応援協定(平成28年7月7日)を締結</li> <li>■あま7市町村の相互応援協定(平成24年)を締結</li> <li>■今年11月に愛知県と広域避難を想定した合同防災訓練を実施予定</li> <li>■出前講座のほか、年1～2回、自主防災会の意見交換会を実施</li> </ul>
海津市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■桑名市高台への洪水時緊急避難について、桑名市と合意(平成28年4月)</li> <li>■台風接近・上陸に伴う暴風雨を対象とした海津市独自のタイムラインを作成</li> <li>■小中学校で防災ノートを活用した防災教育を実施</li> <li>■自主防災リーダー研修の実施、防災士の育成</li> <li>■西濃県事務所からは、要望があれば越境避難の調整を行うとの回答</li> <li>■原子力災害時の避難協定を大垣市、関ヶ原町と締結(ただし、それら地域も洪水、土砂災害が発生する懸念)</li> </ul>
津島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西尾張9市の相互応援協定(平成28年7月7日)を締結</li> <li>■あま7市町村の相互応援協定(平成24年)を締結</li> <li>■年1回、自主防災会の意見交換会を実施</li> <li>■毎月第3日曜日を「家庭防災の日」と定め、家族間での防災に関する話し合いを習慣化</li> <li>■市内全世帯を対象に希望者を募集し、家具転倒防止金具取付事業を実施</li> <li>■理論上最大モデルの南海トラフ地震被害想定に基づいたハザードマップを作成、全戸配布</li> <li>■名古屋大学協働推進事業を実施し、防災・減災のためのまちづくりシンポジウムinつしまを開催</li> </ul>
蟹江町	<ul style="list-style-type: none"> <li>■住民啓発のための情報を盛り込んだ最大モデルの南海トラフ地震被害想定に基づいたハザードマップを作成、全戸配布</li> <li>■住民意識向上のため町内会レベルの防災計画の作成を促進中</li> <li>■スーパー台風の脅威及び蟹江町は堤防と排水機で守られていることを町内会等の防災学習会において説明</li> <li>■総合防災訓練において、「防災ボックス」を活用した避難訓練及び避難所設営訓練を実施</li> <li>■洪水からの緊急避難場所として24施設と協定を締結、引き続き緊急避難場所の開拓を促進中</li> <li>■防災計画を促進するため、地域防災計画を全面改訂</li> <li>■同報無線をデジタル化し、情報伝達手段の多様化及び迅速化を企画(平成29年度整備予定)</li> <li>■周辺地区を含めた広範囲での被災に備えるため、遠隔地との協定について模索中</li> <li>■あま7市町村の相互応援協定(平成24年)を締結</li> </ul>
飛島村	<ul style="list-style-type: none"> <li>■稲沢市・豊根村との相互応援協定(平成24年)を締結</li> <li>■あま7市町村の相互応援協定(平成24年)を締結</li> <li>■住民の防災意識向上のため被害想定や防災情報、村の取り組みをとりまとめた「減災ハンドブック」を作成、全戸配布</li> <li>■平成25年度より既設避難所から遠方の各地区に避難所を建設(完成時には全村民が避難可能)</li> <li>■村内一斉、地震や洪水を想定した防災訓練を実施</li> <li>■風水害を対象とした飛島村独自のタイムラインを作成</li> <li>■今年度、風水害を対象とした業務継続計画の策定及び訓練を実施予定</li> <li>■防災行政無線のデジタル化を今年度施工、同報無線を受信できる防災ラジオを村内全世帯・全企業に配布済み</li> </ul>